

令和4年度 事業報告

人口減少と少子高齢化が急速に進展する中で、現役世代の下支えや人手不足分野に貢献するシルバー人材センターに対して、国や地域社会の期待は非常に大きいものがあります。

一方、令和3年4月から「改正高年齢者雇用安定法」が施行され、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とされましたが、センターにとりましては、会員確保の面においては大きな逆風となっております。

また、新型コロナウイルス感染症は、年度終盤において感染症分類を引き下げの方針が示されるなど、新たな局面を迎えました。

しかし、当センターの事業運営においては、就業機会への制約等はほとんどありませんでしたが、定時総会や各種会議・会合等は中止もしくは規模を縮小しての開催という状況が続き、「チャリティーバザー」や「会員交流会」、そして「地区ブロック研修会」も3年連続の中止という残念な結果となりました。

このような状況の中、当センターの事業実績は大幅に実績を落とした前年度から、請負・委任事業及び派遣事業ともに、一定の回復を見せております。

事業の太宗をなす請負・委任事業は362,410千円で、対前年度比5.2%、18,063千円の増となり、派遣事業についても20,841千円で、対前年度比4.4%、871千円の増という結果となりました。

請負・委任・派遣事業の合計では、契約額は3億8,325万1千円で、対前年度比5.2%、18,934千円の増となりましたが、前々年度の実績には及びませんでした。(合計で△3,894千円)

なお、会員数については、入会説明会は予定通りの開催ができましたが、入会者より退会者が大幅に上回り、前年度末より46名減の822名で、大変厳しい結果となりました。

経営状況につきましては、今年度は市・国の補助金が大幅な減額となったため、赤字予算(△3,293千円)の編成を余儀なくされましたが、予算の効率的な執行と業績の改善等も相まって、最終的には83千円の黒字決算で終わることができました。

新年度も赤字予算の編成となり、10月からは消費税のインボイス制度が施行されるなど、厳しい状況が予想されますが、健全経営の維持とともに、就労やボランティア等を通じて地域社会への貢献を果たすため、努力を傾注してまいりますので、会員、役職員の皆様の更なるご理解とご協力をお願いします。

項目 \ 年度	① 令和3年度	② 令和4年度	②-① 前年度比
会員数（人）	868	822	△46
受注延件数（件）	5,378	5,170	△208
契約金額（円）	344,346,997	362,410,329	18,063,332
就業実人員（人）	664	637	△27
就業延人員（人日）	66,515	67,159	644
就業率（％）	76.5	77.5	1.0
単年度収支（円）	△1,981,576	83,195	2,064,771

※ 「受注延件数」から「就業率」までの各項目は、請負・委任について記載